

西日本豪雨災害支援(倉敷市真備町地内)実施

平成30年7月7日早朝、当協会員である日本ロード・メンテナンス(株)、川上建設(株)、ムサシ興発(株)に対し、国土交通省中部地方整備局ならびに関東地方整備局より、排水ポンプ車10台、照明車4台の災害支援要請があり即日災害現場へ急行致しました。

現場は、5日から降り続いた豪雨で堤防が決壊し大きな被害が発生した岡山県倉敷市真備町地内で、現地の状況は、住居、田畑等が広範囲に浸水した悲惨な状況となっており作業は翌7月8日から実施することとなりました。配水作業は24時間体制で行われ、当日は災害後ではありましたが梅雨も明け34～35度の炎天下の中での作業となり身も枯れる作業となりました。その後、配水作業は7/9日夜まで連続的に行われ、7/12日には支援チームへの解散指示が出され帰還致しました。

支援チームの感想としては、死者約200人弱、避難生活者約7000人、現地の水没した家、損壊した家などを目の当りにした時、被災者の心情を察すると非常に胸の痛む思いがしました。

当協会としましても、住民の皆様が早急に日常生活に戻れるよう祈念すると共に、引き続き支援体制を整え協力していく所存であります。

排水作業状況(倉敷市真備町地内)

